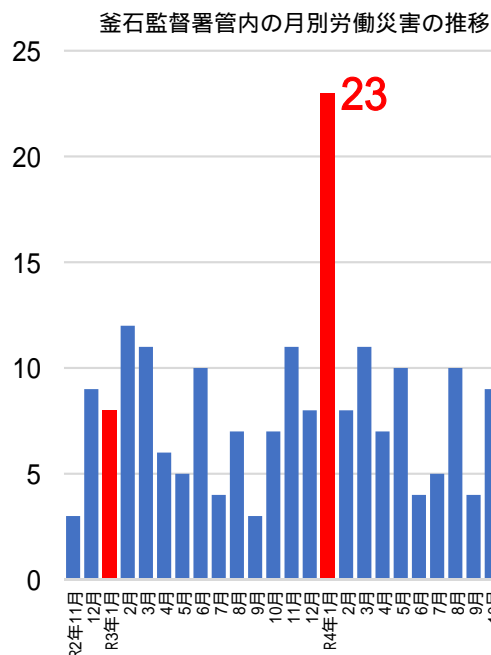


「いわて年末年始無災害運動」 重点取組

釜石監督署管内の月別労働災害を比較すると、令和4年1月が他の月の2倍以上発生します。その多くが雪上や氷上での転倒など冬季特有災害です。

特に、冬季シーズンの**初**の「まとまった積雪」や「急に冷え込む朝方」に発生しており、冬季シーズンの生活に一旦慣れれば、労働災害は落ち着いています。

そこで、今年度の「いわて年末年始無災害運動」の釜石監督署独自の重点取組を以下のとおりとし、実施することとしました。



どんな時に

翌日にまとまった積雪が予想される時

各事業場で20cm以上、30cm以上などの目安を作るとよい。

翌日に氷点下に一気に冷え込む時

各事業場で12月は - 5 以下、1月・2月は - 10 以下などの目安を作るとよい。

どのように周知・啓発する？



終業時刻までにタイムカード機のところに掲示する。

「明日は大雪です、自宅を少し早めに出ましょう！」

「明日は - 5 超、自宅を少し早めに出て、安全運転で！」

など（裏面参照）



構内放送で繰り返し注意喚起する。



デジタルサルネージ掲示板で繰り返し注意喚起する。

など



明日は**-5** 超！

自宅を少し早めに出ましょう

冬季の転倒災害を防止しよう

明日は**-10** 超！

自宅をもう少し早く出ましょう

冬季の転倒災害を防止しよう

明日は大雪！

早めに起床し、余裕をもって行動

冬季の転倒災害を防止しよう